パナエナジー、25年度までに5000人増員　EV電池増産で

#関西 #東京 #エレクトロニクス

2023/3/16 17:36 [有料会員限定]

パナソニックエナジーのリチウムイオン電池

パナソニックホールディングス（HD）傘下で電池事業を手がけるパナソニックエナジーは16日、採用や人材育成の方針を明らかにした。2025年度までに国内外で5000人を増員し、従業員数を22年度に比べ25%増の2万5千人体制にする。電気自動車（EV）向け蓄電池の新工場を建設している北米で3000人増員するなど、電池の需要増に対応する。

パナソニックエナジーの従業員に占める海外比率は22年度で74%だが、30年度には8割を超える見通し。米カンザス州に建設しているEV電池の新工場に関連する人員などが増える。日本でも中途採用を強化する方針で、このほど東京都内に新たな中核拠点も設置した。国内の生産拠点が集中する関西以外のエリアでも働きやすい環境を整え、採用を拡大する。

パナソニックエナジーは海外での車載電池の生産を増やす（1月、米カンザス州の新工場予定地）

積極採用に合わせて教育体制も整える。蓄電池の生産技術や関連知識を習得するため、4月から入社2年目までの社員を対象にした社内アカデミーを開設する。若手社員に加え、電池の生産現場での勤務経験がない中途採用の人材にも、短期間で知見を習得してもらう。まず国内で立ち上げる。将来的には北米など海外でも開設を検討する。また、ベテラン技術者からの技術伝承を進めるため、24年4月をメドに現在60歳の定年を65歳まで延長することを社員が選べる仕組みの導入も検討する。

関西セクショントップページはこちら